

千葉大学大学院工学研究科 共生応用化学専攻

共生応用化学コース 教員（助教）の公募

1. 公募人員：

助教1名（女性に限る。下記「12. 備考」参照）

2. 採用後の所属：

大学院工学研究科共生応用化学専攻 共生応用化学コース バイオ機能化学領域

3. 専門分野および主な担当予定科目

本専攻では、女性教員の充実と、生命科学や環境科学に役立つバイオマテリアル教育研究の充実のため、下記の専門分野に該当する方を求めます。

バイオマテリアル、タンパク質工学、細胞・微生物工学、分子生物学など、
広くバイオテクノロジーに関わる研究分野
(たとえば、科研費細目表の2302, 2401, 4706, 5504, 6103に該当する分野など)

担当授業科目：

博士前期課程：特別演習I, 特別研究Iの補助

博士後期課程：特別演習II, 特別研究IIの補助

学部：共生応用化学実験, 分析化学実験, 共生応用化学セミナー,
セミナーI, セミナーII, 生物学基礎実験の補助, 卒業研究

4. 応募資格

- (1) 博士またはPh.D. の学位を有する女性研究者。
- (2) 公募する研究分野に関して、顕著な研究業績を有すること。また研究・教育への強い意欲を有すること。
- (3) 研究機関や企業での研究経歴（ポスドクを含む）を有すること。なお、本公募人事が基づくプログラムの規定により、応募締切日時時点で博士課程に在籍している方は応募できません。
- (4) 本公募人事により本学に採用となった後、重複して他の研究機関・企業等に所属することはできません。また本学に在籍している女性教員（学術研究員・特任教員等を除く）は、本公募人事が基づくプログラムの規定により、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」における本学提案課題「理系女性教員キャリア支援プログラム」の支援対象外となるため、応募できません。

5. 着任時期

平成24年10月1日以降、できるだけ早い時期

6. 任期

なし

7. 応募書類

下記の書類（1～6）をA4版用紙に印刷してご提出下さい。

- (1) 履歴書 1通（写真貼付・電子メールアドレスを連絡先欄に記入のこと）
- (2) 研究業績リスト（査読付き学術論文、国際会議論文、解説記事、著書、受賞、研究費獲得状況（代表・分担を明記）、その他など、項目に分けて記載のこと）
- (3) 論文の別刷またはコピー（主なもの5報まで）
- (4) 現在までの研究概要と採用されたときの研究計画（A4用紙2枚程度）
- (5) 教育に対する抱負（A4用紙1枚程度）
- (6) 参考意見を伺える方2名以内の氏名・所属・役職・連絡先

8. 募集期間

平成24年5月7日（月） 必着

9. 選考方法

書類選考と面接

10. 応募書類送付先

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学大学院工学研究科 共生応用化学専攻

教授 唐津 孝 karatsu@faculty.chiba-u.jp

（封筒に「バイオ機能化学領域 教員応募書類在中」と朱書きし、書留による郵送のこと。なお、応募書類は返却いたしません）

11. 問い合わせ先

同専攻 教授 齋藤 恭一 marukyo@faculty.chiba-u.jp

12. 備考

千葉大学では、平成18年度に「両立支援企画室」を開設しました。また平成19年度には、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に、本学の「支援循環型体制による女性研究者育成モデル」が採択されるなど、女性研究者支援と両立支援を並行して積極的に推進してきました。

本公募は、平成22年度文部科学省科学技術振興調整費（女性研究者養成システム改革加速事業）に採択された本学提案課題「理系女性教員キャリア支援プログラム」による人事です。

理学・工学・農学分野における女性研究者の定着および活躍促進を目指す本プログラムでは、あえて女性のみを対象とする公募を行い、育つ能力と意欲を持つ優秀な女性研究者を本学の教員として迎えるものです（「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を実施します）。

本プログラムでは、採用後3年度目まで、スタートアップ研究費の配分、研究支援要員の配置等による支援を行います。なお、本プログラム（「理系女性教員キャリア支援プログラム」）の規定では、本学に在籍している女性教員（学術研究員・特任教員等は除く）は、本事業補助金の支援対象外となります。